

「第11回中部ライフガードTEC2023～防災・減災・危機管理展～」に出展

東海総合通信局（局長：北林 大昌）は、令和5年12月6日（水）及び7日（木）に名古屋市港区のポートメッセなごやで開催された「第11回中部ライフガードTEC2023～防災・減災・危機管理展～」において、災害時に地方公共団体や民間事業者（電気通信事業者及び放送事業者）に貸出しを行うための移動電源車^{注1}、移動通信機器^{注2}（衛星携帯電話、簡易無線機等）及びICTユニット^{注3}の展示を行いました。

両日とも「建設技術フェア2023in中部」が同時開催されたこともあり、二日間の来場者数が合計で16,040人に上るなど盛大に開催され、東海総合通信局のブースにも地方公共団体や防災関係者など大勢の方々に来場いただきました。

来場者からは、移動電源車や移動通信器機の保有台数やこれまでの派遣場所、また、移動電源車の性能、無線設備の使用方法や貸出方法など多くの質問が寄せられ、発災時における通信機器の備えに高い関心がうかがえました。

当局では、引き続き、さまざまな機会を捉え、東海総合通信局の防災・減災の取組について理解を深めていただくとともに、地方公共団体や民間事業者等が行う被害情報の収集や応急復旧活動が迅速に行えるよう多様な情報伝達手段の確保を図ってまいります。

注1：移動電源車は、地方公共団体が運用する防災行政無線や民間事業者が運用する携帯電話基地局等への電力供給が途絶し重要な情報通信ネットワークの機能維持に支障が生じた場合に備え貸出用として準備しています。

注2：移動通信機器は、地方公共団体等が被害情報の収集や応急復旧活動に不可欠な通信を確保するために貸出用として準備しています。

注3：ICTユニットは、無線LANによる通信環境を構築し、衛星回線にも接続を可能とする通信ユニットです。

地上の公衆通信網が利用できなくなった場合の代替の通信手段として地方公共団体等に対して貸出用として準備しています。



開会式で挨拶する河村名古屋市長



移動電源車の展示



移動通信機器等の展示



東海総合通信局ブースの来場模様